

BISHOP'S OFFICE
4-42 NOBORI-CHO
NAKA-KU HIROSHIMA
〒730-0016 JAPAN

PROT.N.

DIOCESE OF HIROSHIMA



ALEXIS MITSURU SHIRAHAMA

DEI ET APOSTOLICAE SEDIS GRATIA EPISCOPUS HIROSHIMAENSIS

2019年10月1日

宣教の保護者 幼きイエスの聖テレジアの記念日

広島教区の司祭 各位

広島教区長 司教
アレキシオ 白浜 満

10月20日に各小教区でささげる「福音宣教特別月間」一斉ミサについて

+ 主の平和

教皇フランシスコが、全世界の教会に呼びかけた「福音宣教特別月間」が、今日から始まります。教皇の訪日に向けた準備に合わせて、「ともに喜びをもって福音をのべ伝える教会へ」向かって内的な刷新の歩みを、さらに前進させていくことができればと思います。

広島教区では、「福音宣教特別月間」（10月）にあたり、「世界宣教の日」の10月20日（年間第29主日）に、各小教区で「福音宣教特別月間」一斉ミサをささげて、教区全体で一年間の準備をおこない、来年の11月23日（勤労感謝の日）に、「2020教区代表者会議」を開催することにします。

11月に入ってから、各地区センターを通して、「2020教区代表者会議」を教区全体で開始していく「歩み」（プロセス）の説明やアンケート調査の資料が配布します。この準備段階では、各地区の協力が重要になってきますので、各地区の司祭の集いや宣教司牧評議会に、司教または代表者会議の準備チームのスタッフが参加して、説明や意見交換をおこなうことにしています。

10月20日の「福音宣教特別月間」一斉ミサのとき、可能な範囲で（各司祭・小教区の判断で）、以下の事をおこなってくださいますよう、よろしく申し上げます。

①福音の朗読箇所：当日はルカ18・1-8です。そのままの箇所を用いるか、説教の内容に合わせ、この主日に限り、宣教に関係する他の福音の箇所を、任意に選んで用いることも可能です。

②説教の前後：来年11月23日に「2020教区代表者会議」をおこなうことの宣言（必須事項）

DIOCESE OF HIROSHIMA



ALEXIS MITSURU SHIRAHAMA

DEI ET APOSTOLICAE SEDIS GRATIA EPISCOPUS HIROSHIMAENSIS

【宣言文（例）】

「広島教区では、今月を『福音宣教特別月間』に制定された教皇フランシスコの呼びかけに応えるために、今月から一年間の準備をおこない、『ともに喜びをもって福音をのべ伝える教会へ』を総合テーマとして、来年11月23日、『2020教区代表者会議』を開催します。これから始まる準備のために、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。」

③共同祈願の4つ目（共同体のために）：たとえば次の意向（例文）を加える。

「教区創立100周年に向かう歩みを続けている広島教区が、『福音宣教特別月間』を制定された教皇フランシスコの呼びかけに応え、『ともに喜びをもって福音をのべ伝える教会』へと成長できるよう、来年11月に開く教区代表者会議に向けての準備を導き、助けてください。」

④ミサの前後：種々の祈りの「ともに喜びをもって福音を伝えるための祈り」を唱える。

⑤種々の機会のミサの公式祈願（十四）：「福音宣教のため」を用いて祈る。

【集会祈願】

恵み豊かな神よ、

あなたは、教会がすべての民の救いの秘跡となり、キリストの救いの業を世の終わりまで伝えることを望まれます。信じる人々の心を燃え立たせ、宣教の使命に目覚めさせてください。すべての人が一つの家族、一つの民としてあなたのもとに集まり、ともに栄光をたたえることができますように。聖霊の交わりの中で……

【奉納祈願】

すべての人の救いを望まれる父よ、

教会の祈りとささげものを受け入れ、恵みを注いでください。

世界に救いをもたらした御子の受難をふさわしく記念することができますように。……

【拝領祈願】

信じる者の力である神よ、

いのちの糧で養われたわたしたちを恵みで満たしてください。御子イエスの十字架による救いが、教会の福音宣教を通して、すべての人にもたらされますように。……

以上